

家事の手伝いから  
ひきこもり解消を

岐阜で勉強会

ひきこもりの子ども  
を持つ保護者らを対象  
にした勉強会が二十  
日、岐阜市宇佐の県図  
書館であり、県精神保  
健福祉センターの丹羽  
伸也所長が講演した。  
丹羽所長は「子ども  
がひきこもる安全基地

があるというのは、必  
ずしも悪いことではな  
い」と指摘。社会復帰  
を考える上で「願望と  
課題が異なる場合があ  
る。例えば、働きたい  
願望があっても現实的  
ではない場合、家事を  
手伝ってもらおうとい  
う課題から始めては」と  
助言した。

勉強会は、ひきこも  
りやニートの若者の就  
労を目指す県若者サポ  
ートステーション(ぎ  
ふサポ)が主催。保護  
者ら四十四人が参加  
し、個別の相談会もあ  
った。勉強会は年六回  
で、今後は親同士の話

し合いなどを計画して  
いる。問い合わせは、  
ぎふサポ＝電058  
(216)0125＝  
へ。(小笠原寛明)